

雪板の魅力レポート

その3 雪板体験会 in 中津川に参加してみた

おきラボC班の相馬です。

2月16日(日)に飯豊町中津川地区で開催された OutBack Labo (川西町) 主催の雪板体験会に参加しました！

雪板を見るのも、OutBack Labo の皆さんとお会いするのも初めてだったので、スキーウェアを着て、ドキドキしながら集合場所の白川荘へ向かいました。白川荘の駐車場でC班の戸田さんと事務局の中路さんと一緒に、Lab の皆さんやそのお子さん達とご挨拶した後、白川荘から車で数分の場所にある体験農園サポートセンターに移動しました。



まずは腰にベルトを巻いて、雪板だけ滑っていかないよう紐でつなげます。雪板についている滑り止めに、まずは斜面上側の足をしっかり置いてから、もう片方の足をのせます。さあスタート！

思った以上に雪板と雪の接面がツルツル滑って、スピードが出ます！そして滑り始めたら、転ばないと止まれません(初心者)。

それでも Labo の皆さんにコツを教えてもらいながら、だんだんとスピードにも慣れて、ちょっとずつ長く滑れるようになりました。

5mくらい滑れただけで Labo の方とハイタッチ！周りの参加者の皆さんも一緒に喜んでくれて、嬉しくなりました。



滑っている間のスピード感や、長く滑れた時の達成感がクセになって、今度ももっと長く滑りたい！と、止まらなくなりました。雪の斜面を登って、滑って、転んで、登って、滑る…の繰り返しなのに、息を切らして汗をかきながら、ただただ楽しく遊びました。

雪の中で思いきり転んだり、遊んだりしたのっていつぶりだろう？



子ども達が飽きてしまっても、大人達はいつまでも雪板遊びに夢中になっていました。「雪板」という、大人も子どもも夢中になれる新しい遊びを体験できたこと。こんなに楽しい遊びを教えてくれる、とってもフレンドリーな Out Back Labo の皆さんとお会いできたこと。置賜ならではの魅力、また新しく発見しました！

来冬はふわふわの新雪の時に雪板遊びに行きたいです！皆さんもぜひお楽しみに！

